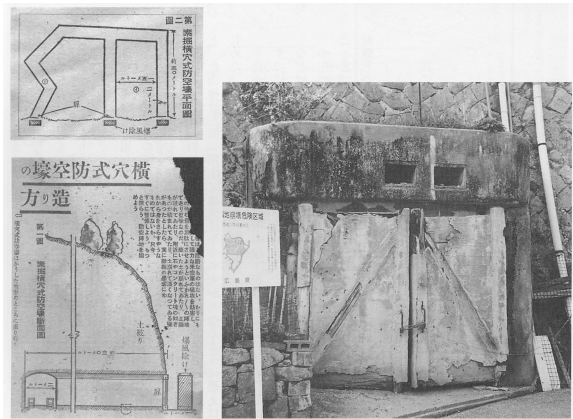




いまも のこっている ぼうくうごう。
 いりぐちには ばくふうよけや くうきが はいってこないよう いろいろくふうされ
 とてもがんじょうだった。けれど ばくだんには かなわない。
 くずれおちたり やけるほのおと けむりが ぼうくうごうの なかにはいつてきて…
 たくさんひとが むしやきに なったんだって……。くるしかっただろうね。
 しんだひとは じゅんじゅんに つみかさねて やかれていった。
 「ちいさなこどもが いちばんうえに つまれて やかれたけれど
 そのかおが わすれられない。」と はなしてくれた おじいちゃんは つらそうだった。
 こんな はなしも きいたよ。
 ぼうくうごうのなかで きをうしなって たおれたひとは しんだひとと
 くべつが つかない。
 あきらめきれない かぞくが なんども かわに みずをくみにいき
 あたまのうえからかけ ほほをなんどもたたいて いきをふきかえしたときは
 なみだが とまらないほど うれしかった。
 しかし しんだおんなのこを にもつのように かたからぶらさげ
 「どうしてくれるんだ。どうしてくれるんだ。」と
 ほうしんじょうたいで あるいていく おとうさんに
 なんのことばも みつけることが できなかったと……。